

2024年
6月開始

トモシンセシス撮影のご紹介

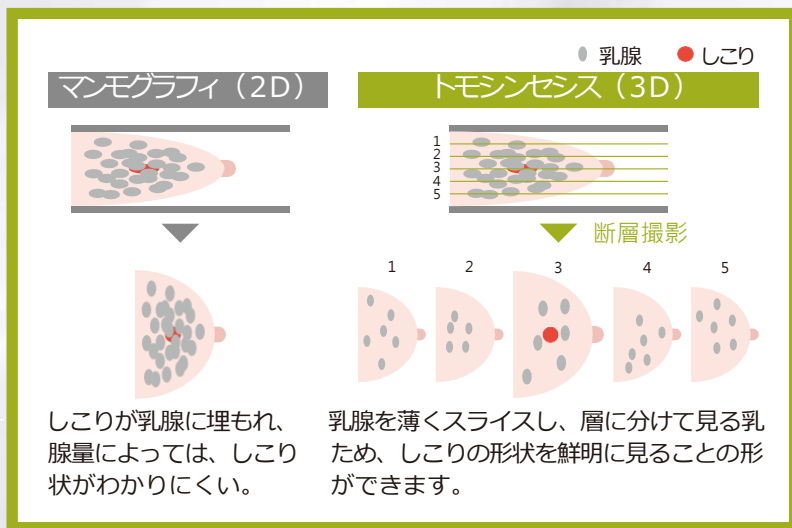
新たなマンモグラフィ装置の最新機能
「トモシンセシス撮影」を開始します。

従来と同じ乳房圧迫による撮影で、画像をさまざまな角度から撮影する事により、より細やかな画像を提供できるようになりました。これまでの撮影法（2D）とあわせて撮影を行うことで、乳房が重なり合って診断しづらい病変も判別しやすくなりました。

※トモシンセシスとは Tomography（断層撮影）と Synthesis（合成）の造語で、これまでとほとんど同じ撮影で、乳房の断層画像が得られます。

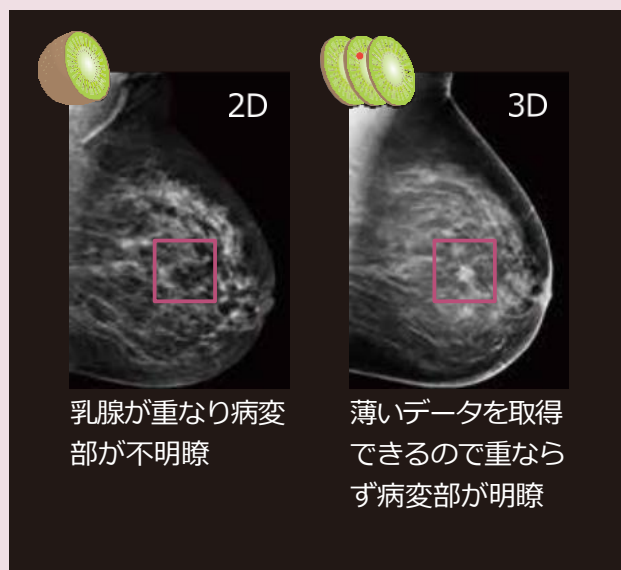
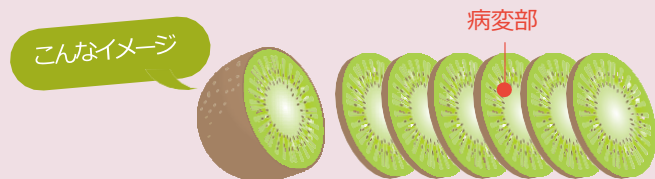


写真提供：
GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
Senographe Pristina



乳腺を薄い輪切り上で見るから 中の病変がわかりやすい

受診方法はこれまでのマンモグラフィと同様ですが、今までは数cmの厚さにすることが限界でしたが、トモシンセシス機能により「1mm程度」にスライスした断層画像を作成します。そのため、断層ごとにピントが合い、通常の画像に比べて乳腺の重なりが少なくなり、病変がよりわかりやすくなります。



地方独立行政法人神奈川県立病院機構

神奈川県立足柄上病院